



モナコ ロイヤルウエディング展

7月23日(水)～8月4日(月)
日本橋三越本店 本館・新館7階 ギャラリー



市民からの祝福を受けられるアルベール2世公とシャルレーヌ公妃
©Geoffroy Moufflet - Archives du Palais Princier

「地中海の宝石」と謳われる世界で2番目に小さな国・モナコ公国。2011年7月にアルベール2世公(故グレース・ケリー 妃のご子息)とシャルレーヌ公妃がご成婚され、それを記念してモナコ海洋博物館で開かれた「ロイヤル ウエディング展」がこの夏、日本橋三越本店で開催されます。

この展覧会では、シャルレーヌ公妃が身に付けられた、ジョルジオ・アルマーニによる長さ5mのヴェール付きウエディングドレスや、特別オーダーされた豪華なティアラ「エキューム」をはじめ、ウエディングセレモニーで使用された品々、モナコ公国の歴史資料、今なお人気の高い故グレース・ケリー公妃の関連資料等が華々しく展示されます。



シャルレーヌ公妃が身に付けられたティアラ「エキューム」
©Lorenz Bäumer

名 称：モナコ ロイヤルウエディング展 (L' Histoire du Mariage Princier)

会 期：2014年7月23日(水)～8月4日(月)

会 場：日本橋三越本店 本館・新館7階ギャラリー
午前10時～午後6時30分(午後7時閉場)
※最終日は午後5時まで

入場料：一般・大学生1,000円、高校・中学生800円
(小学生以下無料・税込み)

主 催：NHKプロモーション

後 援：駐日モナコ公国大使館、モナコ政府観光会議局

協 力：エールフランス航空、三菱商事



ウエディングドレス姿のグレース公妃
© Fernand Detaille - Archives du Palais Princier

株式会社 三越伊勢丹ホールディングス
コーポレートコミュニケーション担当 広報(新宿事務所) TEL:03-6205-6003